

故人や先祖の霊を供養

大江夏まつり・精霊流し



▲提灯や花で飾られた精霊舟

「大江夏まつり・精霊流し」が8月15日、天草町の大江地区コミュニティセンター前で開かれました。初盆を迎えた家庭が精霊舟で故人を送る同地区の伝統行事。今年は11軒の家庭から、住民が提灯や花で飾られた精霊舟を担いで、掛け声を出しながら同センターに集結。読経の後、大江漁港からチャーター船に精霊舟を乗せて沖を周遊し、お供え物を流して故人や先祖の霊を供養しました。

地域の魅力を発掘！

地域づくりインターン事業



▲報告会のようす

8月下旬から約2週間、五和まちづくり協議会による「地域づくりインターン事業」が行われ、関東の大学生4人が参加しました。同協議会が、外から見た地域の魅力などを提案してもらおうと実施したもの。学生たちは期間中、御領・二江地区の地域づくりの現場を訪れ、住民たちと交流。その後に行われた報告会では、学生たちがテーマにしていた石本家屋敷、旧二江小学校の活用策などについて提案を行いました。

海上に浮かべたゴザと発砲スチロールの上を渡る！

大多尾みなと渡りピック



▲海上のゴザの上を渡る参加者

海上に浮かべたゴザと発砲スチロールのコースそれぞれ約25mを渡る距離と速さを競う「第4回大多尾みなと渡りピック」が8月22日、新和町の大多尾漁港で開かれました。競技には、地元の高校生や住民など26人が挑戦。参加者は、不安定なコースに足をとられるなど苦戦していました。結果は、高校生2人が両競技とも完走し、長元雅也さん(高校2年)がみごと優勝しました。

大舞台で牛深ハイヤ節を堂々と披露

牛深高校郷土芸能部が文化庁長官賞を受賞



▲牛深高校郷土芸能部の皆さん

牛深高校郷土芸能部が7月30日、滋賀県で行われた「第39回全国高等学校総合文化祭」の郷土芸能部門で牛深ハイヤ節を披露し、文化庁長官賞を受賞しました。10年ぶり7回目。同部門には全国から56校が出場。部員10人は、大舞台で堂々とした演技を披露しました。また同部は、8月30日に東京都で行われた「第26回全国高等学校総合文化祭・優秀校東京公演」にも出演しました。

スポーツを通じて親子と地域のふれあいを！

親子ソフトボール大会



▲懸命にプレーする子どもたち

9月13日、「第41回親子ソフトボール大会」が牛深グラウンドで開かれ、地区ごとに編成された7チームが参加しました。牛深まちづくり協議会が、親子や地域のふれあいと体力づくりの推進を目的に毎年実施しているもの。1～4回のインニングを子どもたち、5～7回のインニングを親が戦う方法で実施され、ファインプレーや豪快なホームランも見られるなど、熱戦が繰り広げられました。

万一の災害に備える

天草市一斉避難訓練



▲通報訓練を行うようす

「天草市一斉避難訓練」が9月6日、市内一円で開かれ地域住民など約7,600人が参加しました。市が、住民に防災の意識を高めてもらおうと初めて実施したもの。訓練は大雨で市内全域に避難勧告が発令されたとの想定で行われ、楠浦地区では避難訓練が行われたほか、通報訓練や救命講習なども行われ、参加した住民は真剣に取り組んでいました。

天草の成り立ちと文化を学ぼう！

ジオパーク特別講座



▲講演をする大塚氏

8月16、23、30日の3日間、有明地区公民館と市ジオパーク推進室共催の「ジオパーク特別講座」が有明町民センターで開かれ、地域住民など60人が受講しました。御所浦白亜紀資料館運営審議員の大塚雅勇氏など3人の講師が、天草の成り立ちや文化、ジオパークの概要などについて講演。天草の地層の種類などをレプリカや写真を使って説明され、受講者は熱心に聞き入っていました。

白熱した試合に多くの声援

天草市杯ミニバレーボール選手権大会



▲懸命にプレーする選手の皆さん

「天草市杯ミニバレーボール選手権大会」が8月30日、天草市民センター体育館で開かれ、一般・壮年女子・地域選抜の3部門に55チーム・325人が参加しました。会場では多くの声援が飛び交い、みごとなチームワークで白熱した試合が展開。結果は、一般の部は「青梗菜I」、壮年女子の部は「エンジョイズ」、地域選抜の部は本渡地区代表の「南っ子ファイターズ」が優勝しました。